



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 メンバーズ

コード番号 2130 URL <http://www.members.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 剣持 忠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員兼コーポレートサービスディビジョン長 (氏名) 小峰 正仁

TEL 03-5144-0660

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,510	12.4	130	△10.0	146	1.4	74	3.1
26年3月期第3四半期	4,014	16.1	145	36.1	144	36.4	72	60.7

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 72百万円 (△4.9%) 26年3月期第3四半期 76百万円 (74.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	12.75	12.46
26年3月期第3四半期	12.52	12.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,618	1,617	60.5
26年3月期	2,719	1,550	56.2

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 1,582百万円 26年3月期 1,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の配当予想については未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,635	14.5	295	12.3	310	18.8	171	17.8	29.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	6,055,400 株	26年3月期	6,002,400 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	155,700 株	26年3月期	156,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	5,867,487 株	26年3月期3Q	5,793,079 株

(注) 期末自己株式数に含めている株式給付信託(J-ESOP型)信託口が保有する当社株式数は、以下のとおりであります。
平成27年3月期第3四半期 78,900株 平成26年3月期 80,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成27年2月5日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や追加の金融政策などを背景に企業業績の向上や雇用情勢の改善を維持するなど緩やかな回復基調で推移いたしました。当社グループを取り巻くインターネット業界では、スマートフォンの普及が後押しし、2014年の総メディア接触時間(東京地区)におけるインターネット接触時間が初めてテレビ接触時間を上回る(株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所 平成26年6月発表)など、これまで以上にネットメディアの重要性が増しております。また、企業のマーケティング活動においては、実名制SNSであるFacebookに加えて、特性の異なる様々なソーシャルメディアの積極的な活用が進んでいると同時に、Webサイトやアプリ、動画コンテンツを中核に自社コンテンツを発信し、生活者との継続的な関係を構築するオウンドメディア中心のコミュニケーションにシフトしています。このように企業のWebマーケティングを取り巻く状況は日々進化を続けており、その重要性はますます高まってきている一方で、Webマーケティング人材の深刻な不足が想定されます。

そのような中、当社グループは、2020年に向け策定いたしました「VISION2020」(平成26年5月8日発表)に則り、膨大に増えるWebマネジメント業務やソーシャルメディアを活用したエンゲージメント向上の取り組みを包括的に提供する「エンゲージメント・マーケティング・センター」サービスに注力し、顧客企業のインターネットを活用したマーケティング活動をPDCA運用に基づき総合的に支援し、当社グループの売上向上を図っております。加えて、当第3四半期連結累計期間も引き続き、ナショナルクライアントのWebマーケティングへの投資意欲が向上しており、企業Webサイトの運用サービスを中心とした制作案件やソーシャルメディア関連案件が売上増加を牽引しております。

一方で、当第3四半期連結累計期間の営業利益は前年を下回るものの収益性改善の取り組みの成果により、前年同四半期連結会計期間を上回る営業利益となりました。引き続き、ユニット・案件毎の利益管理の強化に加えて、地方制作拠点を活用した生産性向上に注力することで、事業拡大と同時に経営基盤および収益体質の強化に取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,510百万円(前年同四半期比12.4%増)、営業利益は130百万円(前年同四半期比10.0%減)、経常利益は146百万円(前年同四半期比1.4%増)、四半期純利益は74百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は2,618百万円(前連結会計年度末比101百万円の減少)となりました。これは主として、現金及び預金が99百万円、仕掛品が103百万円、投資その他の資産が74百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が406百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は1,001百万円(前連結会計年度末比167百万円の減少)となりました。これは主として、流動負債その他が133百万円増加したものの、買掛金が128百万円、未払法人税等が103百万円、賞与引当金が93百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,617百万円(前連結会計年度末比66百万円の増加)となりました。これは主として、利益剰余金が45百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月31日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

(配当予想について)

当社グループは継続的に企業価値の向上に努め、株主に対する長期的かつ総合的な利益還元を行うことを経営の重要な課題の一つとして位置づけております。財務体質の強化および将来の事業拡大へ備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、経営成績および財政状態を勘案し、総合的な株主への利益還元を実施しつつ、連結配当性向20%程度を目標にしております。

当期末の配当につきましては、現時点では未定とさせていただき、今後予想が可能となりました段階で可能な限り速やかに公表させていただきたく存じます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	992,758	1,092,729
受取手形及び売掛金	1,202,642	795,685
仕掛品	47,218	151,167
その他	117,737	124,515
貸倒引当金	△605	△297
流動資産合計	2,359,751	2,163,800
固定資産		
有形固定資産	161,216	163,540
無形固定資産	18,720	36,653
投資その他の資産	179,722	254,380
固定資産合計	359,658	454,574
資産合計	2,719,410	2,618,374
負債の部		
流動負債		
買掛金	509,458	380,845
1年内返済予定の長期借入金	2,628	—
未払法人税等	103,908	307
賞与引当金	136,913	43,182
受注損失引当金	—	2,630
その他	344,526	478,502
流動負債合計	1,097,434	905,468
固定負債		
その他	71,136	95,817
固定負債合計	71,136	95,817
負債合計	1,168,571	1,001,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	780,007	783,715
資本剰余金	410,470	414,603
利益剰余金	360,955	406,532
自己株式	△26,511	△26,325
株主資本合計	1,524,922	1,578,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,435	4,418
その他の包括利益累計額合計	3,435	4,418
新株予約権	22,481	32,454
少数株主持分	—	1,689
純資産合計	1,550,839	1,617,088
負債純資産合計	2,719,410	2,618,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,014,740	4,510,861
売上原価	3,190,994	3,703,474
売上総利益	823,745	807,387
販売費及び一般管理費	678,699	676,862
営業利益	145,046	130,524
営業外収益		
受取利息	94	105
受取配当金	169	184
助成金収入	—	14,490
その他	204	1,803
営業外収益合計	468	16,583
営業外費用		
支払利息	1,089	703
その他	166	157
営業外費用合計	1,256	860
経常利益	144,258	146,247
特別利益		
投資有価証券売却益	369	—
新株予約権戻入益	34	76
特別利益合計	403	76
特別損失		
固定資産除却損	177	120
特別損失合計	177	120
税金等調整前四半期純利益	144,485	146,203
法人税、住民税及び事業税	41,091	26,142
法人税等調整額	30,836	48,066
法人税等合計	71,927	74,209
少数株主損益調整前四半期純利益	72,557	71,994
少数株主損失(△)	—	△2,810
四半期純利益	72,557	74,804

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	72,557	71,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,201	983
その他の包括利益合計	4,201	983
四半期包括利益	76,759	72,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,759	75,787
少数株主に係る四半期包括利益	—	△2,810

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。